



丹波篠山市立  
たまみず幼稚園  
城北畑小学校  
1月の1



2021年、令和3年の幕が開き、3学期が始まりました。50日あまりの短い期間ですが、健康第一を基本に据え、一所懸命に学習に取り組む城北畑小学校へと更に前進していきます。

8日（金）書き初め大会を行いました。低学年は教室で、3年生以上は密にならないよう学団別に時間をずらして体育館で課題に取り組みました。ネームペンや筆を持ち、息を凝らしながら筆先を運ぶ子、一文字書き終えると大きく息を吐く子、何回もお手本を見ながらペン先を運ぶ子、どれが一番よいか正座しながらじっくりと見比べる子等々、みんな真剣に取り組むことができました。書き初めは、平安時代の宮中行事として行われたのが始まりとされ、江戸時代から徐々に広がったようです。一年間の抱負や目標を定めたり、字の上達を祈願したりします。子どもたちに日本文化を継承する意味も込め、年始めに行う書き初めは学校行事には欠かすことができません。

### 感染リスク低減に向けた学校園運営



新年早々、新聞、ラジオ、テレビ等々で新型コロナウイルス感染者数が日に日に増加していると伝えられ、8日（金）には、兵庫、大阪、京都の3府県が緊急事態宣言発令を政府に要請したところです。学校園においても安心・安全な場所を提供すべく、始業式に感染リスク低減に向けた注意喚起を促すと共に松原養護教諭が作成した「ほけんだより1月」を踏まえ、次のように対応していくことを職員で再確認しています。

#### ○●○● 基本的な感染対策 その1 ●○●○

- ・人との十分な距離を確保・マスクの着用（十分な呼吸ができない場合を除いてはいつも着用する。）
- ・大きな声を出さない・手洗い（清潔なハンカチ、ティッシュ持参）・十分な換気（午前中は教室、保育室が冷え込んでいますので、エアコンまたはストーブで対応していますが、廊下や教室、保育室の窓を常時少し開けて空気の通りをよくしています。加湿器も稼働させています。）
- ・距離を取った座席配置

#### ○●○● 基本的な感染対策 その2 体づくり ●○●○（1月ほけんだよりから）

- ①早起き：ぐっどもにんぐ ②朝ご飯：ぎゅっとパワーチャージ ③勉強：本をしっかりとよもえ
  - ④昼ご飯：30回かもえ ⑤運動：もえっと遊ぼう ⑥お風呂：もえあたたまったかな？
  - ⑦夜ご飯：食べ過ぎはよくないっていえし ⑧睡眠：もえねるよ（下線部は丑年に引っかけています）
- 「早寝早起き朝ご飯」これが鉄則です。ウイルス等が体に入っても跳ね飛ばすような元気な体づくりを心がけていきたいです。保護者の皆様、毎朝の検温及び風邪症状のご確認（健康観察カードのご提出）を今後ともよろしく願いいたします。



尚、次のような場合は出席停止となります。学校園にご一報ください。  
1 感染が判明した場合または感染者の濃厚接触者に特定された場合 2 発熱や普段より強い咳、息苦しさ、強いだるさ等の風邪の症状が見られる場合

### 学校評価

7日（木）、今年度の学校教育活動を評価項目ごとに振り返ると共に次年度への学校運営に活かすために学校評価を行いました。評価項目別に出た主な意見等は次のとおりです。（○は成果 ●は課題と改善策）

- ① 「自分の考えを持ち共に高まる賢い子」  
○自主学习によく取り組むことができた。また、授業中自分の考えをノートに書いたり、発表したりしようとしている児童が増えた。  
●基礎的な学力の定着と文章力の向上→特に算数科においては、授業の終わりに「今日の振り返り」として、感想や意見を書いています。毎時間確保することと、筋道を立てた書き方ができているか注視していきます。
- ② 「思いやりの心で共に伸びるやさしい子」  
○集会活動（なかよし班遊び）ができたことがよかった。コロナ禍において、偏見等差別についての学習ができた。また、地域の人との関わりができた（特に3年生の環境体験事業）。  
●名前を呼び捨てする場面が時々ある。→その場で対応、迅速な対応を心がけていく。小さなことを見逃さないこと。
- ③ 「心も体も健康で元気な子」  
○手洗い、うがい、手指消毒、家庭での検温等、習慣化している。自身の健康管理のおかげで風邪等に罹る児童も例年に比べて大変少ない。感染症対策の保健指導も普段からできた。タグラグビーのグッズを活用するなど、体育科においては運動量も確保できた。また、運動会やマラソン大会もできた。  
●子どもたちの頑張っている姿を保護者、地域の方に観ていただく機会が少なかった。→学校園便り等、ホームページにできるだけアップしていく。
- ④ 生徒指導  
○掃除活動はよくできている。朝のあいさつも友だちや職員によくできている。校長室や職員室にそれぞれあいさつする児童も多い。  
●あいさつは、高学年になるにつれてしなくなる傾向がある。また、登下校に時々課題がある地区がある。→不定期に下校指導を取り入れていく。
- ⑤ 特別活動  
○委員会活動においては、意欲的に活動ができた。  
●クラブ活動は、児童の自主的、主体的な活動を展開するというのが本来の目的であるが、時間の制約もあり教師主導型になっていた面もあった。→児童と事前に打ち合わせをしたり、自主的な活動を確保するためにどんな活動にするか、話し合う時間を確保したりしなければならない。
- ⑥特別支援教育  
○書画カメラやプロジェクターを使うなど、視覚的に分かりやすい授業が展開できた。また、「分かち書き教科書」「デイジー教科書」なども活用した。
- ⑦家庭、地域との連携  
○コロナ禍により、様々な活動に制限があったが、学校での学習の様子など各担任による通信、情報担当（林教諭）によるホームページへのアップなど、たくさん発信ができた。
- ⑧校内研修  
○算数科の授業の在り方について研究を進めてきた。授業中の対話活動（児童同士、児童対教師）を多く見ることができた。他社の教科書会社との比較も教師にとってよい勉強になった。  
●本校独自の算数科授業スタイルが確立されていない。→今年度の取組をまとめる研究冊子を作っていくこと、また、次年度も引き続き算数科を研究していくことなどをとおして、児童にとってよりよい授業スタイルを創造していく。

### 3園交流

8日（金）、岡野幼稚園、篠山幼稚園が来園し、独楽まわし、けん玉、カルタ、外遊びなどで交流しました。誰もが遊びの中に入ったり活発にコミュニケーションを交わしたりしていました。遊びを創り上げる達成感も味わうことができたのではないかと思います。人と関わる力が育っています。今学期も質の高い幼児教育を追求していきます。